

パトロール犬の紹介

今回は、田坂さん家(沖代町)のワンちゃんを紹介します。



名前 アロマ(男の子)
 犬種 トイプードル
 年齢 10歳(8月2日)
 好物 さつまいも、りんご、ブロッコリー
 特徴 人懐っこい&マイペース

ボール投げ、散歩、お出かけ大好きなアロマです😊お散歩帰りにいつも楽しかったよーと言ってるのかニコニコして顔をのぞいてきます😊雨は、少し苦手だけど、パトロールがんばります👏



あいがも 私が題字を書きました 沖代小4年生 後藤 優 継 さん



僕は、そろばんが女子です。珠算や暗算の検定で級があがるとうれしいです。これからも上の級や段位を目指してがんばりたいです。

指導：山本書道塾 山本華彩

『ここに住んでよかった』と思える地域づくり



沖代校区ネットワーク協議会 あいがも

今回は『OOOOO』さんから、ご協力いただきました。広告掲載料5,000円は「沖代校区まるごと情報」発行経費の一部として活用されます。

※広告募集中!

沖代校区まるごと情報 あいがも

第50号
 発行
 2024年
 11月

多文化共生は思いやり ~やさしい日本語を学ぼう~

10月8日(火)令和6年度沖代校区ネットワーク協議会主催(沖代公民館共催)研修会を開催しました。講師に中津市役所総合政策課の方をお迎えし、「多文化共生は思いやり」~やさしい日本語を学ぼう~と題して、ご講演いただきました。外国人総合相談センターの相談員の方も参加し有意義な研修会でした。



令和6年度沖代校区ネットワーク協議会研修会

研修内容

- ・中津市の外国人の状況
- ・中津市外国人総合相談センターの紹介
- ・他地域、自治会等の取組事例紹介
- ・やさしい日本語とは
- ・やさしい日本語で話してみよう



参加者の皆さんも書き言葉と話し言葉の演習問題に取り組みました。やさしい日本語への書き換えや、やさしい日本語を話してみました。

やさしい日本語のポイント(話し言葉)

- (1)はじめの心得
 - ・伝えたい情報を取捨選択し、整理する
 - ・このくらい話せば分かるだろうという思い込みを取り払う
 - ・日本での一般常識を知らないかもしれないという前提で丁寧に説明する
 - ・英語交じりなど、不自然な日本語にしない
 - ・大人の相手に対して「子供扱い」をしない
 - (2)聞き方の心得(相手の話をしっかり聴く)
 - (3)話の進め方(反応を見る、臨機応変に対応する)
 - (4)話し方の基本(短くはつきり言い切る)
 - ・はっきり話す ・文の最後まで言い切る ・短く切って話す
- はさみの法則**
- ・ゆっくりしたペースで話す
 - ・適度に声の強調や抑揚を付けるなど声のトーンを変える
- (5)適切な言い換え(相手が理解できる言葉に言い換える)
 - (6)言葉以外の工夫
 - ・身ぶり手ぶり(ジェスチャー) ・資料、写真、図や実物
 - ・コミュニケーションボード



相談員さんが「やさしい日本語」のポイントを説明。ゴミ出しの場面では、相談員さんが寸劇で実演しました。会場からは、笑いも起こりました。

やさしい日本語のポイント(書き言葉)

- ・伝えたいことを整理し、情報を取捨選択する
- ・イラスト、写真、図などを使ってわかりやすく
- ・一文は短くする(一文に言いたいことは1つだけ)
- ・3つ以上のことを言うときは、箇条書きにする
- ・回りくどい言い方や不要な繰り返しはしない
- ・二重否定を使わない
- ・簡単な言葉を使う(難しい言葉を使わない)
- ・曖昧な表現を多用しない(例:くらい、ごろ、など)
- ・複数の意味を持つ表現は使わない
- ・文末は「です」「ます」で統一する
- ・方言は使わない
- ・重要な言葉はそのまま使い、<=…>で書き換える
- ・漢字の量に注意し、ふりがなをつける



沖代小学校(現中学1年生)研修会当日会場に展示しました。6年生の児童104名が作った多文化共生パンフレットを外国人総合相談センターに贈呈。パンフレットには52ヶ国・地域の挨拶や国旗、概要、文化などが紹介されています。



参加者の声(アンケートより)

- 実際に外国から来られた方たちのお話が伺えて、理解しやすく、とてもよかったです。
- 日本人は解っていても外国の方には解らないことが多いので、文化の違い等も考えながら対応していきたい。
- ロールプレイもあり解かりやすかったです。何気なく使っている表現でも解かりにくいものがあると具体的に知ることができました。
- 方言が通じないことは言われて実感しました。

沖代まるごと情報

発行日: 2006年10月15日
発行所: 沖代のなかま
代表: 襖田隆全

創刊号

金手鶴市神社秋祭り

日時 10月22日(日) 13:30~神事 15:00~新瀬神盛會
場所 金手鶴市神社境内

沖代名物 すずめの家バザー

日時 10月22日(日) 10:00~12:00
場所 中央町2丁目 中津市水道局駐車場

公民館まつり

日時 10月29日(日) 9:00開會
場所 沖代公民館

沖小まつり

日時 11月12日(土) 9:15~ 読み聞かせの会「オルゴール」による人形劇とエプロンシアター
場所 沖代小学校

沖代校区地図

メンバー募集!
「沖代のなかま」では、一緒に活動する「なかま」を募集しています。詳しくは公民館まで

創刊にあたり
秋季さわやかにみなぎる好季節となりましたが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。
昨年度からの中津市の福祉の里づくりも今年の8月で一段落しましたが、折角、集まった仲間をこれっきりで解散するのはもったいない気がします。そこで、福祉の里づくり沖代校区を担当した仲間、このたび、「校区の明るいまちづくり」沖代まるごと情報紙を発刊する運びとなりました。
皆様により身近な情報をご提供したいと思っておりますので、今後ともご協力をお願いします。
(創刊号より、沖代のなかま襖田代表のあいさつ文)

私が題字を書きました

加未夏子(中央町・豊陽中1年)
『ひとつひとつの文字のバランスに気を配りました!!』

★みなさんも題字を書いてみませんか?

(2009年6月 第6号より)

今夜の一品

卵のとろろ汁 (4人分)

材料	分量
山芋	60g
卵	1個
小ねぎ	少量
だし汁	750cc
薄口しょうゆ	少々
みりん	少々
塩	少々

作り方
① 山芋は皮をむいておろし、溶き卵とあわせて手早く混ぜる。
② 小ねぎは小口切りにする。
③ だし汁を煮立て、①をいれる。
④ ひと煮立ちしたら調味料を加える。
⑤ 椀に注ぎ、小ねぎを散らす。

★男子風呂に入りま専科で好評でした。
給食ボランティア(秋桜子)

(2013年11月 第19号より)

祝50号!

沖代校区コミュニティセンター設立にあたり

沖代校区コミュニティセンター センター長 加茂能光
中津市社会福祉協議会会長新井正勝(中津市長)より、平成20年5月から2年間(平成22年3月31日迄)評議員の委嘱を受け、評議に参加しました。平成20年度の重点目標の中に、住民主体による地域福祉ネットワークの推進が計画され、市報なかま(2009年6月1日号)の中で思いやりあふれ、安心して暮らせる「福祉の里づくり」を目指してと市報のトップ面で報じていますように少子高齢化や家族機能の低下、地域の連帯感の希薄化など社会環境の大きな変化により、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化してきています。
そこで中津市と社会福祉協議会では、平成19年度から平成23年度までに、福祉の里づくり、地域福祉計画、地域福祉活動計画と地域の誰もが安心して暮らせるように各校区、地区で「地域住民皆が住みやすくなるにはどうしたらよいか」を課題に意見を出し合い、地域に合った取り組み目標を設定して意見を反映させる。これが地域福祉ネットワーク会議の目的だと思います。沖代校区には多くのボランティア団体があり、これら団体間のつながり、情報の共有及び支えあいが必要だと思えます。
第1回沖代校区ネットワーク会議が2009年5月12日に開催することができました。開催にあたり、作業部会として話し合い努力して下さったボランティアの皆様にご心よりお礼申し上げます。

(2009年6月 第6号より)

広告第1号

今回、広告を出していただいた「えじまや」さんは、前号の情報紙を見て、ご連絡いただきました。
「沖代校区の皆さんに、今までお世話になっているので何かできればと思いました。」と言って下さいました。
ありがとうございました。
(2010年6月 第9号より)

沖代まるごと情報

沖代校区まるごと情報

沖代校区

まるごと

あいがも



祝 校区まるごと情報発刊50号おめでとうございます

吉田日出子

平成18(2006)年、中津市地域福祉計画活動計画策定の際の作業部会終了後に、参加したメンバーで、襖田さんを中心に「沖代のなかま」を結成し、まずは情報の発信をと、各戸に配る情報紙「沖代まるごと情報」を発行。平成19(2007)年からは年3回の発行となりました。
その後、平成21(2009)年に沖代で活動する15団体で「沖代校区ネットワーク協議会」が発足し、まるごと情報紙も“沖代校区まるごと情報”として、事務局「あいがも」が担うようになりました。事務局の愛称「あいがも」は、その時スタッフだった佐野君という人が「愛」が良いといいました。当時、沖代では、ボランティアのグループ名を、鳥シリーズで決めていました。すずめ、のじこ、こまどり…等、それで、「愛」と当時自治会長をされていた加茂さんの名前から「あいがも」に決まったのです。
沖代という新興住宅地で、つながりの少ない土地柄をつなぐのは、情報共有が一番と思います。子どもたちには、ふるさとを、高齢者には一日も長く在宅で生活できるような、住民同士のやさしさが、情報を通じて育まれてほしいと思います。

第50号を迎えて

あいがも 事務局長 佐藤徹志

〇私が、情報紙作成にかかわるようになったのは、2010年4月に事務局に入ってからのことで、その年の6月に発行予定だった第9号から作成に参加しました。
〇創刊号は、2006年10月15日発行でした。題字は手書きの筆文字で、創刊号から第5号までは、すずめの家のお父さんだった金光睦治さんが書かれていました(2006年~2008年)
〇広告第1号は、「えじまや」さんでした。現在も広告掲載は続いています。(2010年6月)
〇A3表裏だった情報紙の形が変わったのは、第10号からで、A4サイズ4ページの形になりました。これは、全国コミュニティライフサポートセンター代表の池田昌弘氏が来られた時に、アドバイスがあり変更することになりました。(2010年11月)
〇マップ(知っ得マップ)は、沖代のなかま時代からありましたが、新しい形でのマップは第11号からのようです。自治区編・公共施設編・病院編がありました。
〇今夜の一品は、第10号から掲載が始まり、現在も続いています。
〇あいがも独自でホームページを開設していた期間は、情報紙もアップしていました。その後、中津市のホームページでも掲載されるようになりました。(第34号~2018年11月)
〇記念すべき50号を迎えました。これまで、原稿をお寄せくださったみなさん、広告主のみなさん等々…、情報紙づくりにご協力くださったみなさん、本当にありがとうございました。そして、読者のみなさんありがとうございました。今号は50号ということで全面カラー印刷にしました。今後とも、ご愛読、原稿のご協力よろしく申し上げます。